

.

「北極圏」というのは、「北極」とは違う概念です。「北緯 66 度 33 分より北の地域・海域」のことで、地理学的、天文学的な区分のひとつです。気候学的な区分ではなく、北緯 66 度 33 分を超えると、突然北極らしい風景になる・・・ということもあります。私はスウェーデンやフィンランドで、陸路で何度も北極圏の境界線を越えましたが、特に急に景色が変わることもありませんでした。

陸地・海洋を含めた地球の全表面積は、約 5 億 1 千万 km^2 です。そのうち北極圏の全面積は約 2,100 万 km^2 なので、陸地・海洋を含めた割合は、地球全表面のわずか 4.1%に過ぎません。そのうち約 80%は「北極海」が占めているので、「北極圏の陸地」は地球全表面の 1%以下なのです。

しかし、そんな場所にも人の営みはあります。主として、鉱山（鉄鉱石）、観光、それに酪農（トナカイの放牧）などの産業で成り立っています。ノルウェーでは漁業も重要です。スウェーデン北部の北極圏の人口は約 52 万人で、意外と多い印象です。しかし日本人定住者となると、本当に数えるほどしかいません。以前は 3 人（観光ガイド、空港職員、オーロラ研究者）と聞いたことがありますが、現在でも恐らく 10 人以下でしょう。

そのうちに一人は私の古い友人で、「こんなところに日本人」というテレビ番組にも出演したことがある方です。その友人からも「北極圏の初雪のたより」が届きました。温暖化の影響か、今年はやはり初雪が遅かったそうです。写真はその友人の庭から見た湖で、すでに結氷が始まっているそうです。

（スウェーデン・イエリバーレ郡・Vassara 湖畔）

